

「2025 年大阪・関西万博」堺プロジェクトチーム 第 1 回全体会議 議事要旨

○日時 令和 4 年 5 月 24 日（火）16:00～16:45

○場所 堺市役所高層館 20 階第 1 特別会議室

○主な出席者

堺市：

永藤市長（挨拶のみ）、市長公室長、政策企画部長、政策企画部部理事、観光部長、文化部長、産業戦略部長、都心未来創造部長

経済団体等：

葛村堺商工会議所会頭（挨拶のみ）、堺商工会議所常務理事兼事務局長、堺商工会議所理事、公益社団法人堺観光コンベンション協会事務局長、株式会社さかい新事業創造センター代表取締役専務、公益財団法人堺市産業振興センター副理事長

○議事概要

会議の開催に先立ち、永藤堺市長、堺商工会議所葛村会頭から挨拶があり、その後、会議構成員間で今後の進め方等について意見交換が行われた。

意見交換の結果を踏まえ、万博の堺への経済波及効果を最大限取り込むために実施する事業について、その範囲や主体、手法、民間団体も含めた様々なパートナー、財源の問題も含めて、PT メンバー中心に来年度に向けて、整理する方向性を確認した。

【永藤市長挨拶要旨】

堺市にとって、2025 年大阪・関西万博は大変重要な機会であり、堺に最大限成果をもたらせるように皆さんと一緒に取り組んでいきたい。

今までの既成概念ではなくて、想像力を働かせながら、私達の子どもや孫の世代がワクワクするような未来を提示したい。

万博にお越しになった方々が堺のことを知り、実際に堺を訪れ、未来とつながりのある歴史の真髄を知っていただく。このプロジェクトチームは、そのための意見交換と協議の場にしたい。

【葛村会頭挨拶要旨】

万博は、大阪を盛り上げる大きな起爆剤であり、官民で大阪を盛り上げたい。

堺は海から発展してきたまち。堺を起点にできることは色々ある。2019 年に百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に認定され、その後様々な取組を行ってきた。堺商工会議所としても、オープンファクトリーの推進や 2024 年全国商工会議所観光振興大会誘致に向けた立候補を通じて、万博に結び付けることができないか考えている。

商工会議所や経済団体だけではなく、皆さんと協力して、オール堺のチームとして取り組んでいきたい。

【主な意見】

- ・中小企業等の出展の場については、大阪パビリオン「展示・出展ゾーン」への出展支援機関としての応募だけではなく、他の展示方法も含めトータルでの検討が必要ではないか。
- ・万博のレガシーについては、ハードレガシーも含め幅広くに検討されたい。
- ・スケジュールが厳しいと感じるが知恵を絞っていく必要がある。
- ・堺に誘客するにも、アクセス手段によって着地内容の作りが違ってくる。そのあたりも含め WG で検討が必要。
- ・電鉄会社等の民間事業者、大阪府・市や大阪観光局等との連携がないと成果につながらない。民間との連携や実施の主体の検討も大事ではないか。
- ・財政が厳しい中でハード整備がなかなか難しい状況ではあるが、万博が終わってからも誘客につながる取組が必要ではないか。